



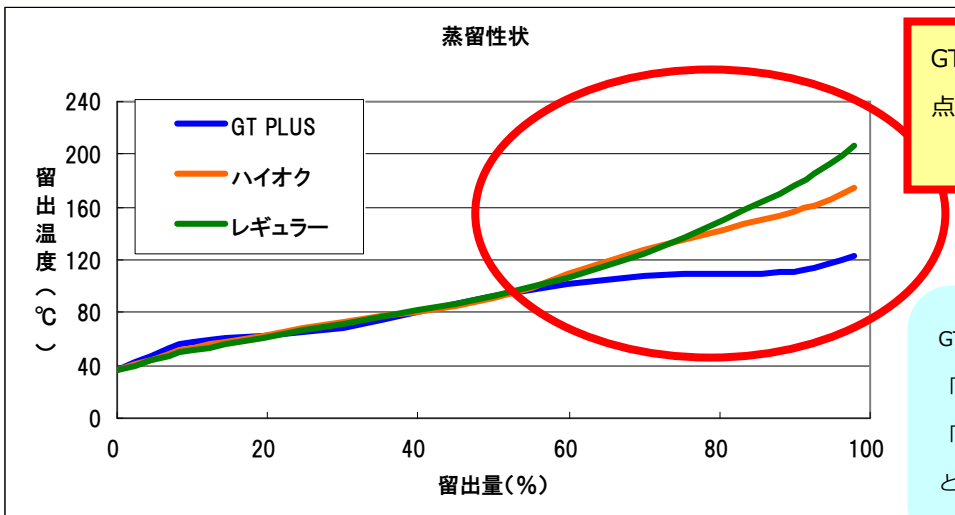
# SUNOCO GT PLUS

無鉛タイプのレーシングガソリンです。リサーチ・オクタン価が「110」と高く、デトネーションを未然に防止し完全燃焼を促します。蒸留留出温度が低いため、エンジン燃焼室内で気化しやすく、燃焼速度も速いため、中高回転でのパワー・トルク感は抜群です。コンピューターマップの変更により、ブーストや点火時期・進角等を調整することで、チューニングエンジンが持つ真のパワーを引き出すことが可能になります。

### 【蒸留性状 分析結果】

		GT PLUS	ハイオク	レギュラー	規格
密度 @15 °Cg/cm3		0.76	0.75	0.73	0.78 以下
蒸留性状	IBP(初留点) °C	37	36	36	-
	10% °C	57	53	52	70 以下
	30% °C	68	73	71	-
	50% °C	93	91	93	75 以上 110 以下
	70% °C	108	128	124	-
	90% °C	111	156	176	180 以下
	終点 °C	123	175	206	220 以下
蒸気圧 Kg/cm2		0.64	0.77	0.64	-
オクタン 価	RON	110	100	90	-
	MON	99	89	83	-
	(RON + MON) / 2	104.5	94	87	-
酸素含有量 %		4.5	0.5 以下	0.5 以下	-
理論空燃比		14	14.7	14.7	-

### 【蒸留性状 留出温度グラフ】



GT PLUSは、「蒸留性状 50%～終点」での沸点温度が低く、気化しやすいため、高回転時での加速性能・パワーの向上に効果的！

GT PLUSは、  
「気化しづらいところでは気化しにくい(低温域)」「気化してほしいところでは気化しやすい(中高温域)」という特長をもったレースガソリンです。



# SUNOCO GT PLUS

## 【製品特長 詳細】

### 《蒸留性状に関する特長》

- ・ 10%における留出温度が高く、市販ハイオク等に比べて気化しにくい  
⇒ ベーパーロック（パーコレーション）防止に効果的です。
- ・ 蒸留沸点の温度範囲が狭い  
⇒ 高沸点成分が含有されておらず、エンジン燃焼室内にて気化しやすいため、高回転域でもガソリンが完全燃焼しやすく、蒸発潜熱によりシリンダー内部の冷却効果も高まります。

### 《オクタン価・酸素含有に関する特長》

- ・ 高オクタン価（RON110）のレーシングガソリン  
⇒ アンチノック性能に優れているため、圧縮比やブーストを高めることができ、点火進角幅を大きく調整できます。  
※市販ハイオクでセッティングしたエンジンに使用した場合、ノッキングによるエンジンプローのリスクを減らすことができます。

#### 『燃調における目安データ』

- ①理想空燃比 : 14
- ②全開時 出力空燃比 : 11.5~12.5
- ③低負荷中速 経済空燃比 : 14~17
- ④低回転（アイドリング）空燃比 : 12

※数値はあくまで目安です。

車両の仕様や走行場所等により

異なりますので、ご注意願います。

- ・ オクタン価の高い「エタノール」を含有

⇒ エタノールを13%含有しています。ススが出にくい環境に優しく、プレイグニッションの防止にも効果を発揮します。

無鉛タイプのレーシングガソリンなので、ノック・O2等のセンサー類や触媒へ負荷を掛けません。

- ・ 酸素を含有

⇒ 酸素を含有しており、市販ハイオク等に比べて燃焼速度が速まります。

※同一の燃料噴射量にて、市販ハイオク等に比べて空燃比が0.7程度リーンになります。

- ・ 密度が高い

⇒ ガソリンの密度が高く、単位容積あたりの発熱量が大きいため、エンジンの持てるパワーを最大限に発揮することができます。



# SUNOCO GT PLUS

## 【ご使用上の注意点】

### ・保管期間について

- ① ガソリン未開封時：約2年
- ② ガソリン開封時：約1年
- ③ ガソリントank給油時：3ヶ月～6ヶ月

※上記期間はあくまで目安です。

保管場所の環境等により異なりますので、ご注意願います。



### ・燃調セッティングについて

リッチ方向（空燃比濃い目）でのセッティング幅は、理想空燃費の70%（9.8）まででご調整願います。

※理想空燃比の70%を下回ると、エンジン出力が低下し、ススが必ず発生するため触媒等を痛める可能性が高くなります。

### ・市販ハイオク（※無鉛に限る）との混合使用について

GT PLUSと市販ハイオクを混合して使用した場合、混合割合に比例してオクタン価が変化します。

#### 《混合使用時におけるオクタン価計算》

- ① GT PLUSと市販ハイオク（※オクタン価100）を50%ずつ使用した場合、  
⇒  $(\text{オクタン価}110 \times 50\%) + (\text{オクタン価}100 \times 50\%) = \underline{105}$
- ② GT PLUSを30%、市販ハイオク（※オクタン価100）を70%使用した場合、  
⇒  $(\text{オクタン価}110 \times 30\%) + (\text{オクタン価}100 \times 70\%) = \underline{103}$

### ・バルブ等の変色について

ガソリン色素（青色）の影響により、エンジン内部やバルブ等が白っぽく変色することがあります。

### ・プラグ番手について

発熱量が高いため、プラグの番手を1～2番程度上げたうえでご使用願います。

※プラグの番手は、車両の仕様や走行目的等によりご決定願います。

## 【商品荷姿】

200Lドラム（在庫限定品）、60Lドラム、20Lペール



## SUNOCO GT PLUS

### 【よくあるご質問】

#### ・点火時期について

一般的に、オクタン価が高いと火炎伝播が遅くなりがちですが、GT PLUSは酸素を含有しているため、燃焼速度が速まります。

ノッキングが発生しないことを条件に、点火時期を早める（進角する）方向での調整がエンジン出力の向上に最も効果的です。

※上記調整方法はあくまで目安です。

車両の仕様や走行目的等により異なりますので、ご注意願います。

※火炎伝播とは・・・燃料と空気の混合気は非常に短時間のうちに燃焼しますが、実際には、紙切れが燃えるように端から燃え広がります。このような現象を「火炎伝播」といいます。

#### ・エタノールの含有率について

エタノールの含有量が少ないうちはオクタン価の向上に有効ですが、ある程度の含有量に達するとオクタン価の向上率が急激に低下します。

また、エタノールの含有量が多くなると発熱量が大きく減少するため、「オクタン価」と「発熱量」のバランスを取るべく、GT PLUSはエタノールを13%含有しています。

#### ・車両への悪影響が懸念される部分（部品）について

車両を長期間（1年程度）使用しない場合、インジェクター・燃料ポンプ等といったゴム・プラスチック部分の腐食や、ガソリンが吸湿した水分により、燃料タンク等の金属部分に錆びが発生する可能性があります。

車両への給油時においては、目安として「3～6ヶ月間」での保管を心掛けてください。

※保管場所の環境等により異なりますので、ご注意願います。

#### ・酸素の含有率について

ガソリン中の酸素は、あくまで燃焼開始のきっかけとなるために含有されています。

酸素含有量が多すぎると、オクタン価や発熱量等といった本来の性能メリットに悪影響を及ぼしてしまうため、GT PLUSではそのバランスを加味して酸素を含有させています。